

# 輝北ダム特設ボートコースで初のレガッタ開催!



▲第52回南日本レガッタ



▲会場に設置された「2020かごしま国体」の旗

## ●輝北ダムで行われる今後の大会予定

日程	大会名
7月14日(土)・15日(日)	国体九州ブロック予選会
9月16日(日)	県民体育大会
10月20日(土)・21日(日)	全国選抜大会県予選会

4月29日(日)に輝北ダム特設ボートコースで、第52回南日本レガッタが開催されました。この大会は昭和34年に初めて行われた歴史ある大会。第1、3回大会まで鹿児島市の磯海岸で開催され、その後中断もあり

ましたが、太陽国体(昭和47年)の2年前の昭和45年から大隅湖(太陽国体会場)に移り再開されました。今年から、「燃ゆる感動かごしま国体2020」に向けた機運醸成や大会運営のノウハウを

学ぶため、国体会場となる輝北ダムでの初開催となりました。今季最初の県内レースとなった今大会には、県内の競技者6団体41クルー76人が参加。当日は晴天にも恵まれ、波のない絶好のコンディションの中、白熱したレースが展開され、会場となった輝北ダムには地元の方々も応援に訪れました。来場者は、「すぐ目の前を選手が漕いでいくので応援に熱が入った」、「ボート競技は初めて見た」など、あまり目にする機会のない競技に関心を寄せていました。今年7月には、九州各県で順次開催される国体九州ブロック予選会が予定されており、国体開催に向け様々な準備が進んでいきます。



## 編集後記

**ア**ユの放流を40年以上続ける「始良川河川愛護会」。会員は総勢約150人。なぜこんなに長く続けられ、なぜこんなに会員が多いのか。取材する中で、会員の和気あいあいとした雰囲気と、仲間や川に対する愛を感じ、納得しました。(前田)

**自**主的に介護予防に取り組む2つのグループを取材。参加者の元気な笑い声が印象的でした。「運動を始めて、歩く時に杖を使わなくなった」と話してくれた方も!無理なく楽しく継続できる運動が、一番の介護予防ですね。(田嶋)

**イ**タリア語や英語でボート競技を意味する「レガッタ」には、競技に伴う周囲の慈善活動や広報活動も含意されるそうです。たった一つの言葉の意味を知るだけでも、世界観が変わるかも知れませんね。(上古殿)

## お便り&メッセージ

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

ご協力ありがとうございました。

ご応募の際にご記入いただきました個人情報、抽選・賞品引換券の発送・アンケート統計以外の目的で使用することはありません。